OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	特集3 : であいとものづくり : ALS 春の和歌山合宿を通して
Author(s)	
Citation	臨床哲学のメチエ. 2012, 18, p. 21-21
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/23010
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

和歌山の ALS 患者さんとの幾度もの交流を通して、学生がものづくりなど様々なことを学んでいる ITP-SL（詳細は本特集末尾 p.30 に掲載）の活動。今までに立正大学や湘南工科大学、立命館大学などから多くの学生が参加しており、大阪大学の倫理学・臨床哲学研究室では、昨年度から数人が関わっています。

今回は、3 月の 12 日から 13 日にかけて行なわれた春合宿について。

おもに ALS 患者さんと学生の交流や、学生が協力しながら作った患者さんのためのマッサージ機「ほぐすんです」の贈呈を中心に、立正大、湘南工科大、大阪大の様々な学生からの視点を織り交ぜつつ、活動の様子をお届けします。

特集 3

であいとものづくり

—ALS 春の和歌山合宿を通して—